

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和3年3月5日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：児嶋長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから3月5日の原子力規制庁定例ブリーフィングを始めます。

○児嶋総務課長 報道官の児嶋です。

それでは、お手元の広報日程に従いまして、補足説明をいたします。

本日は2番の審査会合の関係からです。

1ページ目の一番下、3月9日火曜日を御覧ください。（3）第56回東海再処理施設安全監視チーム。

議題ですが、こちらは日本原子力研究開発機構東海再処理施設の廃止措置計画変更認可に関しまして、高放射性廃液貯蔵場、いわゆるHAWと、ガラス固化技術開発施設、いわゆるTVF、これら施設の内部溢水対策のほか、それら以外の施設の安全対策について説明を受けるものです。

続きまして、1ページおめくりいただいて2ページ目を御覧ください。一番上の（4）です。第954回原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合。議題ですが、大きく2つに分かれております。

1つ目は、四国電力伊方発電所3号機の設計工事計画認可に関しまして、使用済燃料乾式貯蔵施設についての1月8日の認可申請の概要説明を受けるものです。

もう一つですが、中国電力島根原子力発電所2号機の設置変更許可に関しまして、竜巻対策やシビアアクシデント対策についての説明を受けるものです。

続きまして、その下です。3月10日水曜日、（6）第6回訓練シナリオ開発ワーキンググループ。山形緊急事態対策監の対応となります。

このワーキンググループは、事業者防災訓練用のシナリオ作成等を行うものですが、まず議題1です。こちらは緊急時対策所の指揮者の訓練用であるⅠ型訓練シナリオに関しまして、令和2年度分のワーキンググループとして作成するシナリオの検討と決定を行うものです。

議題2です。こちらは同じく事業者防災訓練用のシナリオで、現場の対応能力向上用のⅡ型訓練シナリオに関しまして、令和2年度分のシナリオとその計画について検討と決定を行うものです。

議題の3つ目は、令和元年度に作成したⅠ型シナリオとⅡ型シナリオ、これらを各事業

者が令和2年度中に実施した結果を確認するものです。

続きまして、その下です。3月12日金曜日、(8)第955回原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合。

議題ですが、中国電力島根原子力発電所2号機の設置変更許可に関しまして、防波壁に関する基礎地盤の安定性評価についての1月29日の会合のコメント回答を受けるものです。

では、1枚おめくりいただいて、3ページ目を御覧ください。一番上です。(10)第5回検査制度に関する意見交換会合。議題は5つございます。

議題の1つ目ですが、こちらは検査ガイド類の改正案、また、検査官の意識調査の結果、これらを規制庁から説明するものです。

議題の2は、四国電力伊方発電所3号機用のPRAモデルの適切性確認を行っている現状について、規制庁から説明を行うものです。

続きまして、議題の3つ目は、昨年12月22日の第3回会合で保安活動に係る指標を事業者に示していますが、これを見直すこととされています。この指標に関しまして、今後の取扱いに関する説明を規制庁から行うものです。

続きまして、議題の4は、取替炉心の安全性評価に関する原子力規制検査を行う場合に、その前提となる事業者の解析コードがございます。今回は事業者から新たに活用したい解析コードがあるということですので、その説明を受けるものです。

最後です。議題の5は、検査ガイドの一つとして「検査気付き事項のスクリーニングに関するガイド」というものがございますが、その後ろに、いわゆる検査気付き事項の中で軽微なものとされた事例集が添付されております。その軽微な事例集の見直しについて検討を行うものです。

最後です。3番のその他で(1)原子力規制委員会委員長による訓示。こちらは3月11日木曜日、10時から、こちらの記者会見室で更田委員長の訓示、また、福島第一原子力規制事務所の小林所長による報告、これらをインターネット配信する形で行います。

私からは以上となります。

<質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり所属とお名前をおっしゃってから質問のほうをお願いいたします。

質問のある方は手を挙げてください。よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。

ありがとうございました。